

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会規約 変更案

(名称)

第1条 本会は、妙高戸隠連山国立公園連絡協議会と称する。

(目的)

第2条 本会は、妙高戸隠連山国立公園の関係者が協働型の管理運営を実施することにより、当国立公園（関係が密接な周辺部含む。以下同じ）の保全及び利用を促進することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 自然環境の保護と利用に関する情報の共有化
- (2) ビジョン、管理運営方針及び行動計画に関する事項
- (3) 広域的に取り組むべき課題の検討及び解決
- (4) その他、本会の目的を達成するために必要な事項

(構成)

第4条 本会の会員は、別表に掲げる関係行政機関、関係団体及び有識者により構成する。

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 監事 2名

(役員の選任及び任期)

第6条 役員は、総会において会員の中から選出する。

- 2 役員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 会長は、環境省信越自然環境事務所及び関係市町村の長から互選とする。
- 4 副会長及び監事は、会長の指名により選出する。

(役員の職務)

第7条 会長は、協議会の会務を統括する。

- 2 副会長は、会長の職務を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。
- 3 監事は、協議会の会計を監査する。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会及び幹事会とする。

(総会)

第9条 総会は会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 総会は、会長、副会長、監事及びその他の会員並びに会長が必要と認める者をもって構成する。
- 3 総会は、原則年1回開催するものとするが、必要に応じ臨時総会を開催できる。
- 4 総会は、会員の2分の1以上の出席により成立するものとする。
- 5 総会は、予算、決算及び事業計画並びにその他必要な事項を協議又は承認する。
- 6 総会の承認事項は、会員の協議を経た上で、議長の決するところによる。

(幹事会)

第10条 幹事会は、必要に応じ事務局が招集する。

- 2 幹事会は、本会を構成する行政機関の幹事及び事務局が必要と認める者をもって構成する。
- 3 幹事会は、協議会の運営等に関する具体的な協議等を行う。
- 4 幹事会は、予算、決算及び事業計画以外で会長が認めた事項について、承認することができる。

(部会の設置)

第11条 事業を効果的、効率的に実施するため、必要に応じて個別課題等に対応する部会を設置することができる。

- 2 部会の設置、構成等必要な事項は、会長が定める。

(会長の専決処分)

第12条 会長は、総会及び幹事会（以下「総会等」という。）を招集する時間がないとき、又は総会等の権限に属する事項で軽易なものについては、その議決すべき事項について、これを専決処分することができる。

- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会等に報告し、その承認を得なければならない。

(会計)

第13条 本会の経費は、負担金、補助金、その他収入をもって充てる。

- 2 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事務局)

第14条 本会の事務を処理するため、環境省信越自然環境事務所（長野県長野市旭町1108）に事務局を置く。

- 2 本会の会計を処理するため、別途経理担当を置く。
- 3 経理担当の任期は、1年とする。

(その他)

第15条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

附則

この規約は、平成28年7月19日から施行する。

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 構成員名簿

NO	機関・団体等	総会構成員	幹事会構成員
1	有識者	東京農工大学 名誉教授 土屋 俊幸	同左
2		文教大学 国際学部 教授 海津 ゆりえ	
3		富山大学 芸術文化学部 准教授 奥 敬一	
4	エコツーリズム関係者	NPO法人GOZAN自然学校 代表理事 目須田 修	同左
5			
6	地域振興関係者	小谷温泉旅館組合 代表 山田 誠司	
7			
8	博物館関係者	糸魚川フォッサマグナミュージアム 館長	
9		野尻湖ナウマンゾウ博物館 館長	
10	山岳関係者	元高谷池ヒュッテ管理人 築田 博	
11		戸隠登山ガイド組合 代表 吉本 照久	
12	観光協会・DMO	一般社団法人 糸魚川市観光協会 会長	事務局長級
13		一般社団法人 妙高ツーリズムマネジメント 会長	
14		一般社団法人 戸隠観光協会 会長	
15		一般社団法人 飯綱高原観光協会 代表理事	
16		一般社団法人 信州しなの町観光協会 代表理事	
17		一般社団法人 飯綱町観光協会 会長	
18		一般社団法人 小谷村観光連盟	
19	市町村	糸魚川市長	環境等関連課長 及び 観光等関連課長
20		妙高市長	
21		長野市長	
22		信濃町長	
23		飯綱町長	
24		小谷村長	
25	県	新潟県環境局長	
26		長野県環境部長	
27	林野庁	上越森林管理署長	総括森林整備官
28		北信森林管理署長	
29		中信森林管理署長	
30	各部会長	歩く利用部会長	歩く利用部会長
31	環境省	信越自然環境事務所長	国立公園課課長

令和 4 年度 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会における

「あまとみトレイル」概要パンフレット制作業務の発注について

あまとみトレイルクラブからの資料（令和 4 年度第 2 回歩く利用部会）
「2022 あまとみトレイルの利用と運営に関わる実態の報告と提案」より抜粋

.....

【提案内容】

概要パンフレットの制作の件

- ・現在設置団体としてあまとみトレイルの概要を伝えるものがない状況。
- ・クラブで自費作成した A 4 両面のチラシは最小限の記載情報でしかなく、国立公園やトレイルの魅力、特に連絡協議会理念目標で掲げる温故知新、日本一愛される国立公園に繋がる内容となっていない。変化に富んだ自然の中に古くからの人の営みがあるのがこの国立公園の特徴で、あまとみトレイルにおいても利用者のアンテナをそちらに向けてもらうのが理想。現状は 2 泊、3 泊で歩くケースが多いが、中休みして各地域の博物館や既存アクティビティにも繋がるような情報発信媒体として、協議会費によるあまとみトレイル概要パンフの制作、配布を提案したい。

A 4 仕上り中綴じ 8 項 が同量の情報量を掲載したものとしては印刷費もやすく、デザインもしやすい。エリアの個性も出しやすいというメリットがある事からこの仕様を提案。

具体的には、デザイン会社マトイクリエイティブの見積りで、あまとみトレイルクラブからの素材提供、基本案作成を条件とし、

表紙、裏面のデザイン費・製作費で 100,000 円+税。中頁の 6 枚を 1 枚 35,000 円換算し、310,000 円+税 =341,000 円

印刷費はネット印刷を利用し、6000 部で約 60,000(税込),10000 部で約 100,000(税込)

トレイルクラブとしても若干の経費はどうしても必要ですので、

A 4 仕上り中綴じ 8 項 10000 部印刷 50 万+税で見積提案したい。

.....

上記の提案に対し、事務局にて仕様書案を作成し 3 社より見積もりを取った結果、最も価格の低い「あまとみトレイルクラブ」に概要パンフレットの制作を協議会予算により発注してよろしいか伺います。

令和4年度 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会における
「あまとみトレイル」概要パンフレット制作業務仕様書（案）

1. 業務の目的

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会（以下「協議会」という）が設置するロングトレイル「あまとみトレイル」について、妙高戸隠連山国立公園を楽しむ新しいコンテンツとして多くの期待が寄せられている。しかしながら、概要を紹介できる資料が少なく、希望する利用者に十分な情報発信ができていない状況が生じており、また、地図情報以外にも、見どころの紹介や当該地域に残る魅力的なストーリーを伝え、あまとみトレイルを通じて妙高戸隠連山国立公園の魅力を伝える効果的な資料が必要なため、パンフレットの制作を行うものである。

2. 業務の内容

（1）あまとみトレイルを紹介する以下の情報を載せたパンフレットを制作する。

1. トレイルの概要、紹介文章
2. 全体マップ、高低図
3. あまとみトレイルの名前の由来
4. 見どころ紹介
5. トレイルへのアクセス情報
6. 歩く上での注意事項
7. 主要施設等連絡先
8. 季節による違い、歩ける時期など重要事項
9. 未開通部分（今後延伸予定の小谷村・糸魚川市）の情報整理、紹介。
10. その他必要と思われる事項

（2）パンフレットの仕様

A4 仕上がり、中綴じ冊子8頁とする。

（3）印刷部数

10,000 部

3. 留意事項等

本業務に係る具体的な作業方法等については、協議会事務局と十分な連絡調整を図り実施すること。

4. 業務履行期限

令和5年3月17日（金）まで

5. 成果物

○提出物

・パンフレット：10,000部

・電子媒体：パンフレットの電子データが含まれるDVD-R1枚

○納品場所：協議会事務局（環境省信越自然環境事務所）

6. 著作権等の扱い

- (1) 成果物に関する著作権、著作隣接権、商標権、商品化権、意匠権及び所有権（以下「著作権等」という。）は、協議会が保有するものとする。
- (2) 請負者は、自ら制作・作成した著作物に対し、いかなる場合も著作者人格権を行使しないものとする。
- (3) 成果物の中に請負者が権利を有する著作物等（以下「既存著作物」という。）が含まれている場合、その著作権請負者に留保されるが、可能な限り、協議会が第三者に二次利用することを許諾することを含めて、無償で既存著作物の利用を許諾する。
- (4) 成果物の中に第三者の著作物が含まれている場合、その著作権は第三者に留保されるが、請負者は可能な限り、協議会が第三者に二次利用することを許諾することを含めて、第三者から利用許諾を取得する。
- (5) 成果物納品の際には、第三者が二次利用できる箇所とできない箇所の区別がつくように留意するものとする。
- (6) 納入される成果物に既存著作物等が含まれる場合には、請負者が当該既存著作物の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に係る一切の手続を行うものとする。

7. 守秘義務

- (1) 請負者は、当該業務の実施過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。
- (2) 請負者は、当該業務の結果（業務処理の過程において得られた記録等を含む）を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡してはならない。ただし、あらかじめ発注者の書面による承諾を得たときはこの限りではない。
- (3) 請負者は、当該業務に関して発注者から貸与された情報、その他知り得た情報を当該業務の終了後においても第三者に漏らしてはならない。

8. その他

- (1) 請負者は、本仕様書に疑義が生じたとき、本仕様書により難い事由が生じたとき、あるいは本仕様書に記載のない細部については、協議会事務局担当者と速やかに協議しその指示に従うこと。

令和 4 年 8 月 2 日

見 積 書

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 事務局 御中

件 名 あまとみトレイル概要パンフレット制作業務

あまとみトレイルクラブ

合計金額（税込） **¥550,000**

長野市戸隠豊岡 9850-29

担当 林部直樹
TEL 090-1128-0282

名 称	数 量	単価	金 額	備 考
制作パンフレット仕様				
A4仕上り、中綴じ冊子8項				
10,000部印刷				
1 企画構成費	1 式			- 今回はサービス
2 取材、記事作成費	1 式		40,000	
3 撮影費	1 式			- クラブ保有のものから選定
4 デザイン費	1 式		310,000	
5 印刷費 10,000部	1 式		100,000	
6 打合せ調整費 事務局構成団体意見調整	1 式		20,000	
7 諸経費	1 式		30,000	
合 計			500,000	
消費税			50,000	
合 計(税込)			¥550,000	

見 積 書

¥ 651, 200-

品 名	数量	単 価	金 額	備 考
「あまとみトレイル」概要パンフレット制作業務		円	円	
・両面カラーA4上がり中綴じ8Pパンフレット	10,000	20 ²	202,000	
用紙マットコート90K 印刷・製本費用				
・8P制作費用（画像等のご提供あり）	8P	48,750	390,000	
※発送・区分け費用は含まれません。				
※地図の加工（トレースなど）等1点当たり ¥50,000- イラスト作成1点当たり¥5,000-				
上記は別途費用となります。				
小 計			592,000	
消費税			59,200	
合 計			651,200	

上記のとおり見積もりいたします。

なお、支払条件は、請求後30日以内とします。

令和 4年 8月10日

住 所 長野市松岡2-6-36
会 社 名 株式会社 日美印刷
代表者氏名 代表取締役社長 今村 康富

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 事務局 殿

担当者等連絡先

部 署 名 : 営業部

責任者名 : 山崎 正義

担当者名 : 岩下 涼

TEL : 026-222-6900

FAX : 026-222-6903

E-mail : yama@nichibi-p.com

見 積 書

見積No. _____

2022年8月10日

妙高戸隠連山国立公園協議会 御中

下記の通り、お見積いたします。

見積有効期限 見積後30日間

納入期日 -

納入場所 -

お支払条件 通常



Graphic & Media Support Co., Ltd.

三條印刷株式会社

代表取締役 法 各 政 道

本社 / 〒955-0072 新潟県三条市元町9番3号
TEL. (0256) 82-2281(代) FAX. (0256) 32-2670

新潟支社 / 〒951-8135 新潟市関屋新町通1丁目13番地
TEL. (025) 231-7191(代) FAX. (025) 231-7194

長岡支店 / 〒940-0094 新潟県長岡市中島5丁目7番43号
TEL. (0258) 32-4286(代) FAX. (0258) 32-4469

関越営業所 / 〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢321-13 Y.D.H.3F
TEL. (025) 784-1010(代) FAX. (025) 784-1020

上越営業所 / 〒943-0807 新潟県上越市春日山町3丁目18-59 フォーレ春日山
TEL. (025) 524-3100(代) FAX. (025) 524-3116

高崎営業所 / 〒370-0803 群馬県高崎市大橋町29-1
ダイアビル北高崎ステーションサイド 2F-E
TEL. (027) 328-3355(代) FAX. (027) 321-2026

合計金額 ￥ 1,111,000

発
行
者

高崎営業所:高木

品 名	規格・寸法	数 量	単 価	金 額
令和4年度 妙高戸隠連山国立公園協議会				
「あまとみトレイル」概要パンフレット制作業務				
パンフレット企画設計・デザイン制作費				
●企画・設計費		1式		120,000
●デザインDTP・コピーワーク作成 8Pの想定	8	1式	25,000	200,000
●取材・打合せ経費	3日間	1式	50,000	150,000
●地図制作費（高低図作成）	リクエストベース	1式		100,000
●写真借用費		10点	10,000	実数
●Webサイト用のデジタルブックの作成	リクエストベース	1式	45,000	サービス
●印刷製造・発送	297×210mm	10,000	44	440,000
※マット紙57.5kg オフセット(カラー)				
・中綴じ製本				
小 計				1,010,000
消 費 税 (10%)				101,000
税 込 合 計 金 額				1,111,000

〈備 考〉

- ※マップデータ流用(等高線一体型起伏色付き地図)・写真素材などの支給あり
- ※企画デザインについては、改めましてご提案の段階にてプレをさせていただきます。
- ※高低図の作成については、御社よりのマップベースにして、データの収集を行い、作成をする内容になります。
- ※イラスト・撮影の場合は、別途お見積もりをご相談させていただきます。

(第4号議案)

令和4年度 妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 歳入歳出予算 (案)

歳入総額	808,733 円
歳出総額	808,733 円
差引総額	0 円

1. 歳入の部

(単位: 円)

科目	本年度予算額	摘要
1 負担金	715,000	6市町村の合計 (ベース5万円+国立公園面積比率割)
2 補助金	0	
3 繰越金	93,733	
4 その他	0	
合計	808,733	

2. 歳出の部

科目	本年度予算額	摘要
1 会議費	0	協議会運営費は、環境省負担
2 事務費	5,000	郵送料、振込手数料等
3 事業費	800,000	50,000円 協議会ホームページ改修及びレンタル料 (含む保守経費)
		750,000円 ロングトレイル保守経費
4 予備費	3,733	
合計	808,733	

注) 会長の決するところにより、科目間の流用をすることができる。

令和 4 年度「あまとみトレイル」メール確認業務の発注について

令和 4 年度第 1 回歩く利用部会で協議しました、令和 4 年度「あまとみトレイル」メール確認業務の発注について、仕様書案を作成し見積もりを取った結果、あまとみトレイルクラブに協議会予算により発注してよろしいか伺います。

令和4年度「あまとみトレイル」メール確認業務仕様書（案）

1. 業務の目的

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会（以下「協議会」という）が設置するロングトレイル「あまとみトレイル」について、妙高戸隠連山国立公園を楽しむ新しいコンテンツとして多くの期待が寄せられており、利用者からの問い合わせなども発生してきている。しかし現状は十分な利用社対応ができていない状況が生じており、利用者に向けて見どころの紹介の他に「あまとみトレイル」の状況などを把握、管理するためにメール確認、対応を常時行うものである。

2. 業務の内容

（１）メール amatomi.tc@gmail.com を１日１回確認。必要に応じて、道路管理者や協議会と情報共有。

3. 留意事項等

本業務に係る具体的な作業方法等については、協議会事務局と十分な連絡調整を図り実施すること。

4. 業務期間

本業務は令和4年4月1日から令和5年3月31日までとする。

5. 成果物

- 提出物：メール管理の状況等を記した日報などの報告資料
- 納品場所：協議会事務局（環境省信越自然環境事務所）

6. その他

- （１）請負者は、本仕様書に疑義が生じたとき、本仕様書により難い事由が生じたとき、あるいは本仕様書に記載のない細部については、協議会事務局担当者と速やかに協議しその指示に従うこと。

令和 4 年 8 月 10 日

見積書

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会 事務局 御中

件 名 令和4年度あまとみトレイルメール確認業務

あまとみトレイルクラブ

合計金額（税込） ¥58,654

長野市戸隠豊岡 9850-29

担当 林部直樹
TEL 090-1128-0282

名 称	数 量		単価	金 額	備 考
あまとみトレイルメール確認業務					
1日10分×365日＝3650分					
÷60.8時間	60.8	h	877	53,322	
※内容の詳細は仕様書による。					
合 計				53,322	
消費税				5,332	
合 計(税込)				¥58,654	

妙高連峰登山道 保全管理運営計画 【案】 の承認について

令和 3 年度妙高連峰登山道の保全整備・維持管理レベル等意見交換会にて作成された妙高連峰登山道保全管理運営計画 【案】 について承認してよろしいか伺います。

妙高連峰登山道 保全管理運営計画

令和4年8月

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会

妙高連峰登山道 保全管理運営計画

目次

はじめに	1
1. 妙高連峰登山道 保全管理運営計画の対象範囲とビジョン	1
1.1. 将来構想（ビジョン）	1
1.2. 登山道一覧	2
1.3. 国立公園の保護規制計画と利用施設計画等	3
1.4. 利用状況図	4
2. 各登山道の体験の質・保全整備・維持管理・情報発信の基準	5
2.1. 各登山道の推奨登山者レベル分け	5
2.2. 体験の質・保全整備レベル・維持管理レベル・情報発信レベルの基準	5
2.3. 各登山ルート of 推奨登山者レベル	7
3. 妙高連峰登山等に関連する課題	8
4. 妙高連峰登山道の保全整備・維持管理レベル等意見交換会概要	9
参考資料	11
参考資料 1 妙高連峰の基本事項	11
1. 自然環境の特徴	11
(1) 妙高連峰（頸城山塊）	11
(2) 妙高山	12
(3) 火打山	12
(4) 焼山	13
(5) 雨飾山	13
2. 登山者数と施設等の状況	14
(1) 登山者数の概要	14
(2) 登山口の状況	14
(3) 主な登山道の概要	17
(4) 山小屋等の概要	17
(5) 麓の宿泊施設等の概要	18
参考資料 2 妙高戸隠連山国立公園の基本方針(妙高戸隠連山国立公園連絡協議会)	19

はじめに

妙高戸隠連山国立公園連絡協議会で平成 29 年 3 月に決定した「妙高戸隠連山国立公園行動計画」では、「登山の活性化」が重点事項として挙げられている。

そのため、山塊としてまとまりのある「妙高連峰（頸城山塊）地域」について、「登山道の保全管理運営計画」を実務関係機関等（表 4）で検討した上で、連絡協議会で策定した。

本計画は、登山道ごとに推奨する登山者レベルを設定し、それに合わせた保全整備レベル・維持管理レベル・情報発信レベルを設定し、対応方針やスケジュール等を取りまとめたものとなっている。

1. 妙高連峰登山道 保全管理運営計画の対象範囲とビジョン

対象範囲である「妙高連峰」地域は、妙高山から雨飾山を結ぶ縦走路に接続する登山道を含む周辺地域とした（図 1）。対象となる登山道は、公園計画書に記載されている登山道のほか、公園計画書に記載はないが、妙高連峰に接続する登山道 2 路線も含めて対象とした。



図 1. 「妙高連峰」地域の登山道

1.1. 将来構想（ビジョン）

「妙高連峰登山道保全管理運営計画」の内容を集約した将来構想（ビジョン）を以下に示す。

将来構想（ビジョン）

『 雨飾山・焼山・妙高山を つなごう、守ろう、楽しもう。 』

大切な妙高連峰を、各山個別登山や連峰縦走など、利用者それぞれの力量に応じ自己責任の範囲で楽しめるような保全整備・維持管理を、この場に集う関係者がそれぞれの役割を果たし、仲間を増やし、連携し実行する。

1.2. 登山道一覧

本計画の対象となる登山道の路線名及び公園計画書における整備方針は表1のとおりである。

表1. 本計画の対象登山道の一覧

路線番号	路線名	整備方針(公園計画書)	距離 (km)	標高差 (m)
1	鋸岳雨飾山線	鬼ヶ面山から雨飾山への登山道として整備する。	4.0	391
3	藤巻山線	藤巻山への登山道として整備する。	1.9	212
4	神奈山線	関温泉より神奈山を経て妙高連峰縦走線への到達登山道として整備する。	6.9	1,123
5	妙高連峰縦走線	妙高連峰の縦走登山道として整備し、黒沢池、高谷池、天狗の庭等の湿原植生の保護を図る。	25.8	1,583
6	大倉池線	燕温泉より妙高山への登山道として整備し、長助池、大倉池の湿原植生の保護を図る。	6.5	926
7	富士見平黒沢池線	富士見平と黒沢池を結ぶ探勝歩道として整備する。	1.9	56
8	赤倉温泉妙高山線	赤倉温泉から妙高山への登山道として整備する。	2.6	586
10	笹ヶ峰笹倉温泉線※1	笹ヶ峰と笹倉温泉を結ぶ登山道として整備する。	11.5	1,608
12	笹ヶ峰高谷池線	笹ヶ峰集団施設地区より妙高連峰縦走線への到達登山道として整備する。	5.6	808
23	小谷温泉雨飾山線	小谷温泉集団施設地区より雨飾山への到達登山道として整備する。	3.8	822
24	小谷温泉金山線	小谷温泉より天狗原山を経て妙高連峰縦走線への到達登山道として整備する。	5.0	993
-	大網登山口～雨飾山※2	-	4.1	1,072
-	雨飾温泉～1290m 分岐※2	-	2.0	403

※1：笹倉温泉から登山口までをルート変更して本計画の対象とする

※2：公園計画外の登山道であるが対象とする

出典：妙高戸隠連山国立公園 公園計画書

1.3. 国立公園の保護規制計画と利用施設計画等

本計画の対象となる登山道に関する国立公園の保護規制計画と利用施設計画は図2のとおりである。

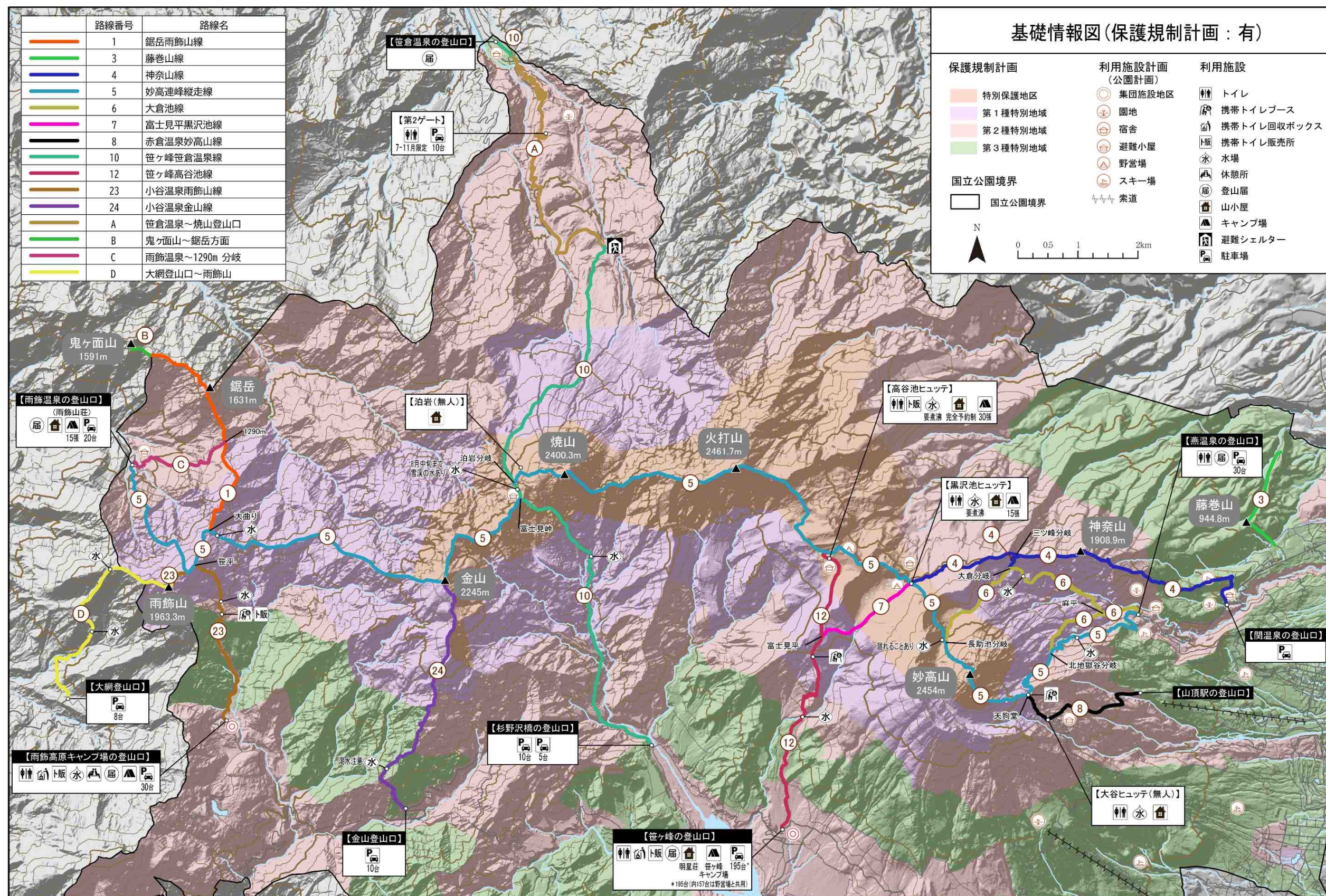


図 2. 国立公園の保護規制計画と利用施設計画等

1.4. 利用状況図

本計画の対象となる各登山道の利用頻度を多・中・小に分け、利用状況を視覚化した。(株式会社ヤマレコの「みんなの足跡&地形図」を参照し、通行記録を多・中・小に3分類にした。)

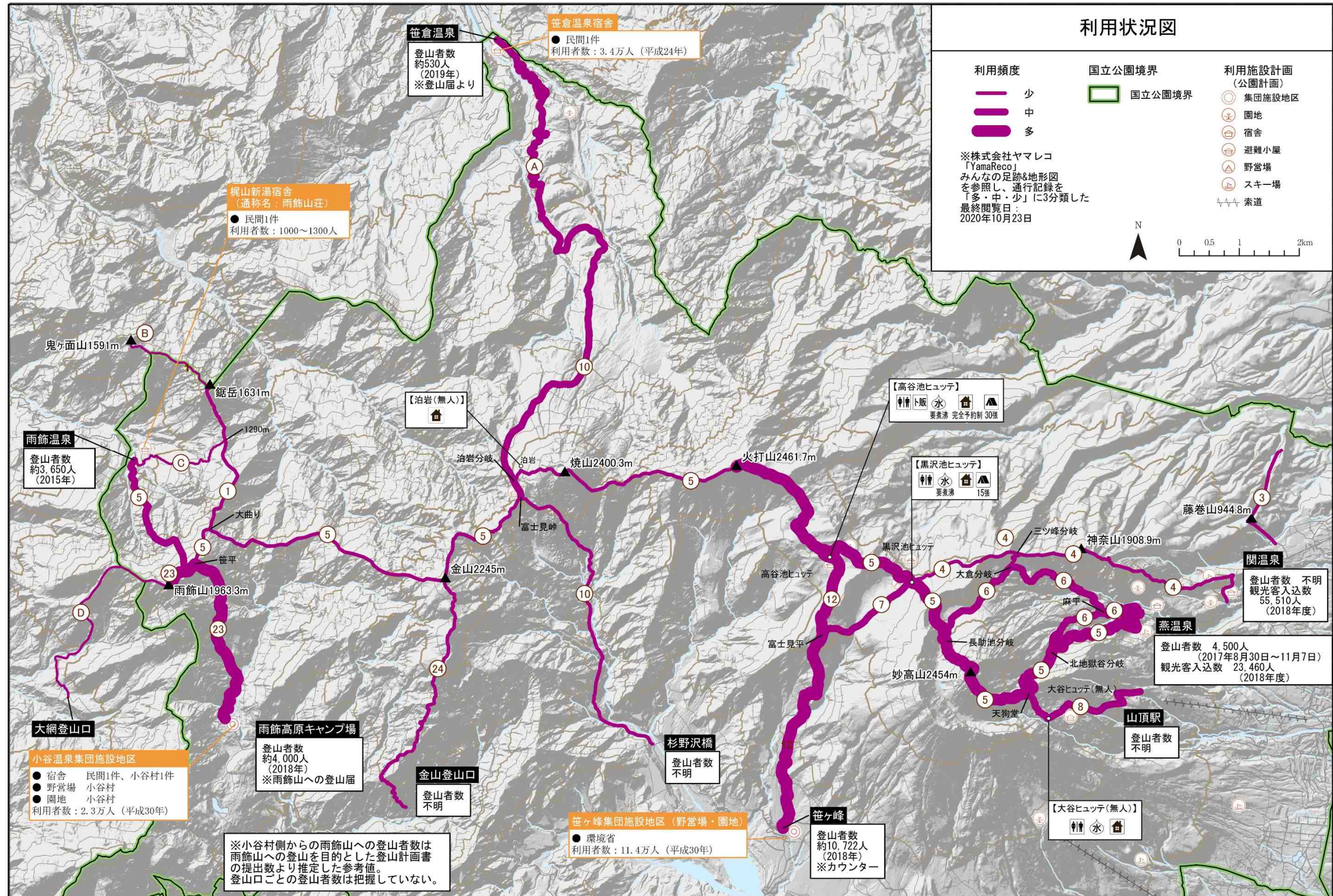


図 4. 利用状況図

2. 各登山道の体験の質・保全整備・維持管理・情報発信の基準

2.1. 各登山道の推奨登山者レベル分け

本計画の対象となる各登山道を利用する推奨登山者レベルを、登山道の状況や位置・自然環境等を総合的に考慮、検討し、3つの推奨レベルに分け設定した。

なお、当該推奨レベル分けは登山道の保全整備等の内容を区分するために設定したものであり、新潟県及び長野県で発行している「山のグレーディング」とは設定目的が異なるものである。

推奨登山者レベル I：一般登山者

鎖場も問題なく通過できる技量・身体能力レベル

推奨登山者レベル II：一般登山者より少し上級者

レベルIに加えて、地図を読むことができ、縦走やテント泊の荷物を背負うことができる体力を有している

推奨登山者レベル III：上級登山者

レベルIIに加えて、ある程度の藪漕ぎや渡渉も問題なく通過することができる

2.2. 体験の質・保全整備レベル・維持管理レベル・情報発信レベルの基準

推奨する登山者レベルに合わせた体験の質、保全整備・維持管理・情報発信の各レベルの基準は表3のとおりである。

表 3. 推奨登山者レベルによる保全整備・維持管理・情報発信のレベル整理表

推奨する登山者レベル	そのルートでの体験の質	保全整備レベル	維持管理レベル	情報発信レベル ＜利用誘導や抑制も含む＞
登山者レベル I [一般登山者] ……鎖場も問題なく通過できる身体能力レベル ※日帰り可能・百名山メインルートを想定	妙高連峰の自然を体感できる登山ルート	■自然環境に配慮し、利用の安全性を求める整備 ・木道や木階段等の利用整備を適切に実施 ・安心して歩くために必要な標識類を整備	■登山シーズン前とシーズン中の定期的な巡視点検と速やかな対応 (草刈り・枝払い・倒木処理・立入禁止のロープ張り・施設や設備補修) ・密度の高い管理によって、利用者が迷わず歩ける状態を維持する ・定期的(登山シーズン前、シーズン中、自然災害日後+ α)な巡視・点検 ・荒廃が進む前に速やかに補修する(施設の簡易補修も実施) ・草露でズボンが濡れない状況を維持した年1回以上の草刈り(ブランド維持のために登山繁忙期前には必ず実施)	■定期的に情報を発信 ・安全登山や事前準備に必要な登山道情報や、登山が楽しめる動植物の情報など定期的に発信する
登山者レベル II [一般登山者より少し上級者] ……レベル I + 地図読める、+ α 体力(縦走できる、テントを持参し登山できる)	妙高連峰の自然の真ん中を体験できる登山ルート	■自然環境に配慮し、当該レベルの登山者が利用するために最低限必要な整備 ・近自然工法での整備を基本とする(資材が調達できない場合は切土階段も可) ・ロープや鎖等の設置は最小限可 ・布団カゴ工等の保護整備は可 ・分かれ道には標識を整備	■登山シーズン最盛期前までに巡視点検と対応 (草刈り・枝払い・倒木処理・施設や設備補修) ・最盛期前を目指し安全確保を主体とした管理を行う ・年1回以上の巡視点検 ・安全確保の簡易補修 ・登山者足下が隠れない状況を維持した草刈り	■最盛期前までには1回以上の情報を発信 ・安全登山や事前準備に必要な登山道情報を適宜発信する ・妙高連峰縦走等を楽しめる情報を発信する
登山者レベル III [上級登山者] ……レベル II + ある程度の藪漕ぎ・渡渉でも問題なく通過できるレベル	人工的な整備がされていない自然のままの登山ルート	■利用のための整備は実施しない。自然環境保護のために必要な保全整備は実施 ・ロープや鎖等の設置は最小限可	■年1回以上の巡視点検 (必要最小限の維持管理) ・年1回程度の巡視点検 ・必要に応じて草刈り	■年1回以上の情報を発信 ・なるべく最新の登山道情報を発信する
廃道	—	上記の整備や維持管理が十分できた上で、さらに人的・予算的に余力があり、利用させたい場合は、想定する利用者レベルを本会メンバーで定め利用を検討することができる。		廃道(行政では管理していない)であることを周知

2.3. 各登山ルートのおすすめ登山者レベル

推奨登山者レベルを、青色（登山者レベルⅠ）、黄色（登山者レベルⅡ）、赤色（登山者レベルⅢ）により示した各登山ルートは、図５のとおりである。各レベルに合わせた保全整備、維持管理、情報発信を行う。

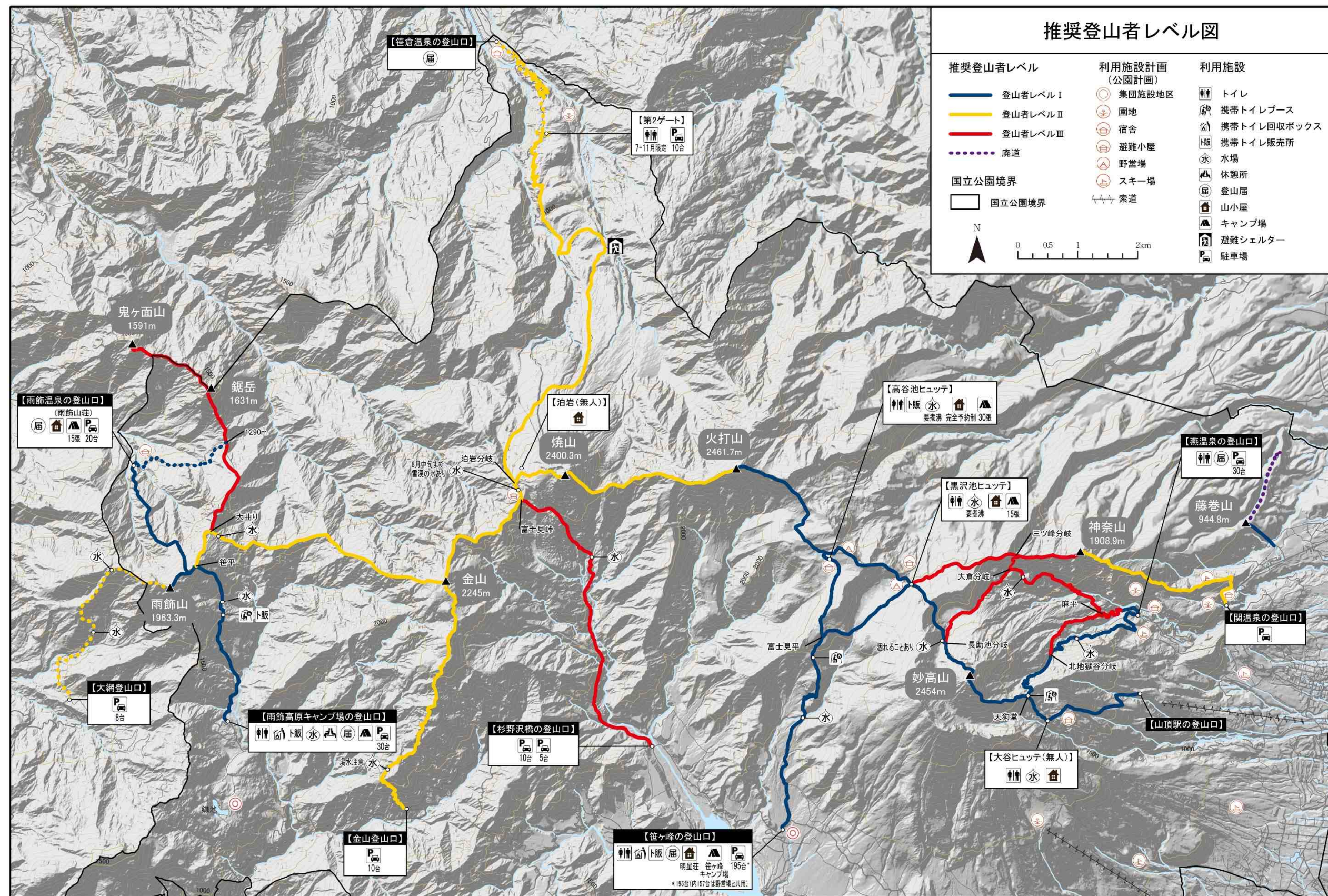


図5. 各登山ルートのおすすめ登山者レベル

3. 妙高連峰登山等に関連する課題

令和元年度妙高戸隠連山国立公園協働型管理運営推進業務で行われた維持管理者等へのヒアリング及び令和２年度第１回意見交換会等で出された妙高連峰登山等に関連する課題としての意見を図６に示す。

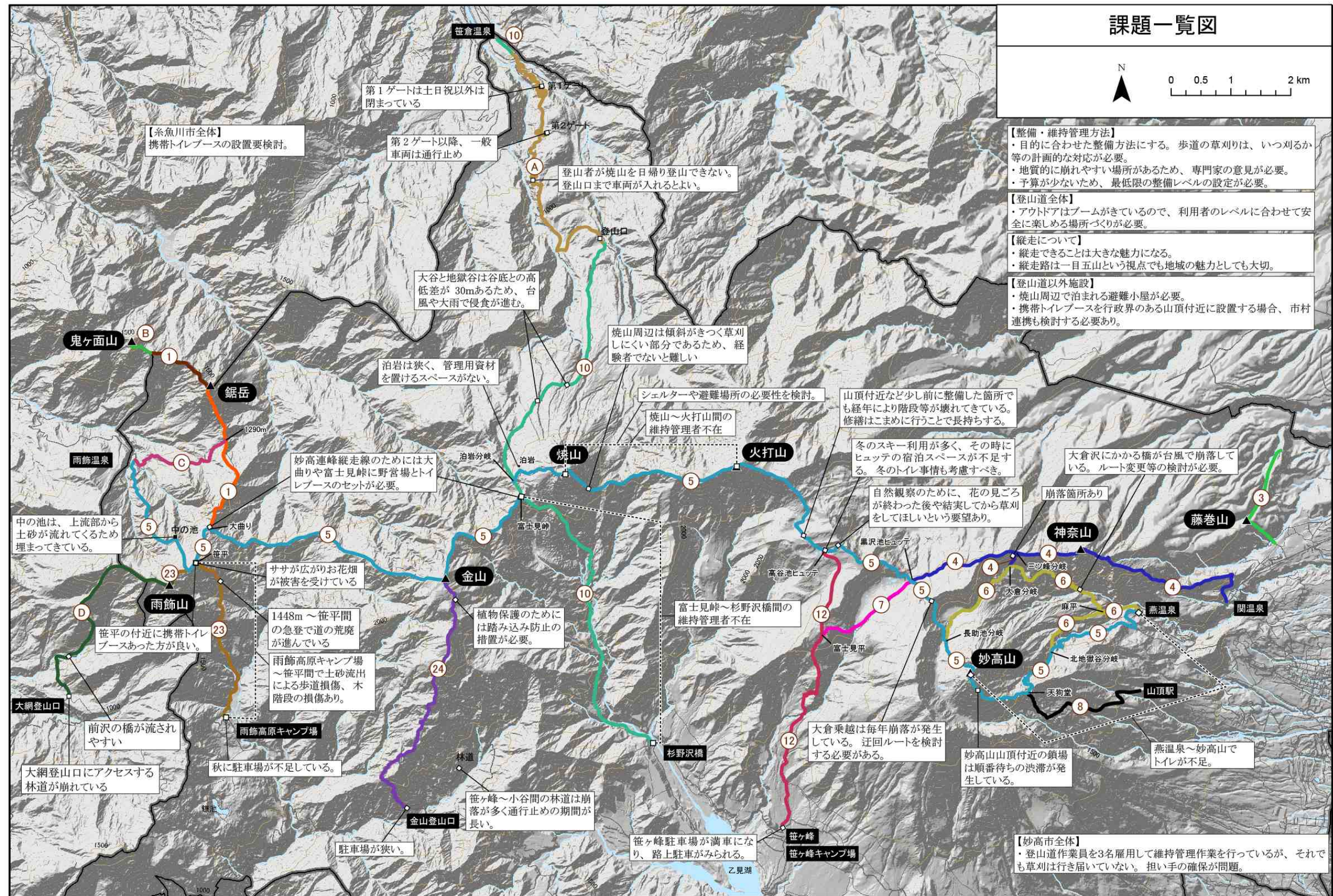


図6. 妙高連峰登山等に関連した課題一覧図

4. 妙高連峰登山道の保全整備・維持管理レベル等意見交換会概要

本意見交換会は、本登山道保全管理運営計画を策定するため、令和2年度に2回、令和3年度に3回の合計5回開催された。今後は、連絡会として年1回程度関係者で集まり、取組の進捗状況の確認や情報交換を行う。また、本計画は課題解決への障壁等を確認するため、5年程度で見直しを行う。

意見 交換会	日付・場所	内容
令和2年 第1回	令和2年11月17日 妙高高原メッセ (新潟県妙高市)	・当会議の流れ ・基本事項の確認 ・将来構想等の意見交換
令和2年 第2回	令和3年3月8日 下早川地区公民館 (新潟県糸魚川市)	・第1回会議資料の修正 ・妙高連峰登山道保全管理運営計画の骨子 ・課題整理(第1回会議の意見の振り返り等) ・将来構想の意見交換
令和3年 第1回	令和3年6月30日 妙高高原メッセ (新潟県妙高市)	・本年度の予定 ・妙高連峰登山道保全管理運営計画の将来構想(ビジョン) ・妙高連峰登山道の利用や保全の課題への対応 ・想定利用者レベルごとの保全整備レベル等の検討 ・焼山～火打山の現地確認について(新潟県)
令和3年 第2回	令和3年11月16日 小谷村役場 (長野県小谷村)	・想定利用者レベルごとの保全整備レベル等の整理 ・妙高連峰登山道の利用や保全の課題への対応 ・個別課題への対応 1. 焼山～火打山の縦走路(新潟県) 2. 縦走路の野営地検討 3. 携帯トイレの設置状況 4. 大倉乗越のう回路検討 5. 紅葉時期の雨飾高原登山口の駐車場不足の問題対応の結果(小谷村) ・情報発信の現状と今後のこと
令和3年 第3回	令和4年3月4日 糸魚川市民会館 (新潟県糸魚川市)	・情報発信の状況について(前回会議資料の残り) ・妙高連峰登山道保全管理運営計画(案)について ・個別課題への対応の進捗について

妙高連峰登山道の保全整備・維持管理レベル等意見交換会の構成員は以下に示すとおり。

表 4. 構成員一覧

機関・団体等	組織名	役職
有識者	東京農工大学	名誉教授
	新潟県生態研究会	会長
	登山ガイド	
山岳関係者	焼山愛好会	代表
	有限会社雨飾温泉	取締役相談役
	黒沢池ヒュッテ	管理人代理
	高谷池ヒュッテ	総支配人
	元高谷池ヒュッテ管理人	
観光協会 ・DMO	一般社団法人糸魚川市観光協会	事務局長
	一般社団法人妙高ツーリズム マネジメント(妙高観光局)	事務局長
	一般社団法人小谷村観光連盟	事務局員
行政機関	環境省 信越自然環境事務所	
	林野庁 関東森林管理局 上越森林管理署	
	新潟県県民生活・環境部 環境企画課	
	糸魚川市 産業部 商工観光課	
	妙高市 環境生活課 環境企画係	
	妙高市 観光商工課	
	小谷村 観光地域振興課 観光商工係	

(事務局) 環境省信越自然環境事務所

参考資料

参考資料 1 妙高連峰の基本事項

1. 自然環境の特徴

＜参考にした既存計画・文献＞

妙高戸隠連山国立公園 公園計画・妙高高原地域管理計画書・管理運営計画書（素案）、山と高原地図 18「妙高・戸隠・雨飾・火打山・高妻山・信越トレイル」、妙高山・火打山地域自然資産地域計画（妙高市）、山の魅力アップ推進計画（糸魚川市）、新潟のすぐれた自然 植物編・動物編（昆虫類・両生類）、レッドデータブックにいがた

（1）妙高連峰（頸城山塊）

1）地形・地質

- ・北部フォッサマグナ上に位置しており、海底に厚く堆積した新第三紀層が隆起して本地域の土台を形成している
- ・海底に厚く堆積した第三紀層が隆起した地層は、侵食を受けて削られ、火打山、雨飾山などの非火山の山々を形成した。その後、富士火山帯の北端に含まれる妙高山、焼山などの火山が形成された

2）植生・生物

- ・太平洋側気候区と日本海側気候区の境目に位置し、標高差も大きく、地形的に複雑であるため、動植物相が豊かである
- ・山々の稜線部や山麓部には、高山植生や原生的な落葉広葉樹林が残されており、質の高い自然環境となっている
- ・標高 1,500m 以上の地域は急峻な山岳地帯であり、ブナ林や亜高山帯に属するダケカンバ林、高山帯に属するハイマツ群落、雪田植生などが広がっている
- ・神奈山東北面のブナ林は、標高 1,500m 付近がユキツバキの生育上限となっており、新潟県でも希少な森林である
- ・自然保護上特に重要な植物の生育地域として、妙高連峰の「すぐれた自然植生ならびに高山植物の分布」がある
- ・ミョウコウトリカブトは頸城山塊に分布しており、重要な地域個体群である
- ・火打山周辺に生息するライチョウ（頸城山系個体群）は、国内北限の生息群として極めて重要な動物群集を形成している
- ・自然保護上特に重要な昆虫類の生息地域として、妙高山から天狗原山の「高山蝶ベニヒカゲの産地」がある

3）その他

- ・通年利用される温泉地が点在し、夏季は高原における自然探勝や登山、冬季はスキー利用が中心である
- ・一般的な夏山登山シーズンは 7 月から 10 月中旬である
- ・登山道の雪がほぼ消えてくるのは 6 月下旬であり、10 月中旬には火打山や妙高山で初冠雪がある
- ・雪解けと同時に花のシーズンが始まり、紅葉の見頃は 9 月下旬から 10 月上旬である

(2) 妙高山

1) 地形・地質

- ・妙高山は標識的な複式火山の山容を留めており、中央にカルデラが形成され、外輪山が馬蹄形に取り囲んでいる
- ・カルデラの中には、植物化石などを含む湖成層があることから、カルデラ湖があったと推測される

2) 植生・生物

- ・黒沢池、長助池等の湿原地形が織りなす景観は極めて貴重である
- ・自然保護上特に重要な両性類の生息地域として、長助池の「高山帯におけるクロサンショウウオのすぐれた生息・繁殖地」、黒沢池の「高山帯におけるクロサンショウウオ、アズマヒキガエルの生息・繁殖地」がある

3) その他

- ・日本百名山
- ・山容と一体となった改変の少ない上部の植生が、本地域の風景の核心となっている
- ・大きな溶岩が並ぶ頂や硫黄臭漂う地獄谷などを有し、別名「越後富士」と呼ばれている
- ・「仏教世界の中心にそびえ立つ高い山」を意味する「須弥山（しゅみせん）」とも呼ばれ、昔から信仰の山として崇められてきた
- ・山麓には燕温泉、関温泉などの温泉地がある
- ・バックカントリースキー等、豊富なアクティビティで利用されている

(3) 火打山

1) 地形・地質

- ・非火山
- ・隆起した地層が侵食を受けて削られ本山が形成されている
- ・妙高戸隠連山国立公園内において最高峰の山である

2) 植生・生物

- ・周辺にある高谷池、天狗の庭などの池塘は、多くの湿性植物、抽水植物、乾性植物が生育している
- ・高谷池湿原はハクサンコザクラに代表される高山植物の宝庫として知られている
- ・黒沢橋から富士見平分岐までは、オオシラビソ林で大径木を含む林分が分布している
- ・自然保護上特に重要な両性類の生息地域として、高谷池・天狗の庭の「高山帯におけるクロサンショウウオ、モリアオガエル、アズマヒキガエルの生息・繁殖地」、笹ヶ峰黒沢の「ヒダサンショウウオの分布の北・東限」がある

3) その他

- ・日本百名山
- ・5月の連休でも5～6mの残雪があり、山ではスキーツアーを楽しむことができる
- ・バックカントリースキー等、豊富なアクティビティで利用されている

(4) 焼山

1) 地形・地質

- ・焼山は、現在も噴煙を上げる活火山であり、最近では 1949 年と 1974 年に水蒸気爆発を起こしている
- ・焼山の北側は、溶岩流によって覆われている特殊景観をなしている

2) その他

- ・1974 年 7 月の水蒸気爆発後、入山が規制されていたが、2006 年 12 月に全面解禁された。その後再び、2016 年 3 月から山頂から半径 1km 以内への立入が規制されていたが、2018 年 11 月 15 日に立入規制が解除された
- ・糸魚川ユネスコ世界ジオパークのジオサイト
- ・山麓には笹倉温泉がある
- ・バックカントリースキー等、豊富なアクティビティで利用されている

(5) 雨飾山

1) 地形・地質

- ・非火山
- ・雨飾山は特異な岩峰で、貫入岩体の特色をよく備えている
- ・大部分は大海川層の砂岩からなり、地滑りの起きやすい地域である

2) 植生・生物

- ・山稜部には、キバナシャクナゲ、ツガザクラ等が生育する偽高山性植生及び残雪の多い立地に生ずる高茎草原、雪田植生等の植生がみられる
- ・ブナ、オオシラビソ、ダケカンバ等の自然林も良好な状態で残されている
- ・自然保護上特に重要な植物の生育地域として、雨飾山の「高山植物および稀産種の生育するすぐれた自然植生」があり、山頂のヌマガヤの優先する草原、その南端にある岩峰の植生は高山植生、稀産植物を含んで貴重である
- ・自然保護上特に重要な昆虫類の生息地域として、雨飾山の「高山性チョウ類の多産地」がある
- ・中の池にフクイマメシジミが生息する

3) その他

- ・日本百名山
- ・糸魚川ユネスコ世界ジオパークのジオサイト
- ・近年の百名山ブームと紅葉の名所であることが広まったことにより、登山者が年々増加している
- ・山麓には雨飾温泉、小谷温泉がある

2. 登山者数と施設等の状況

(1) 登山者数の概要

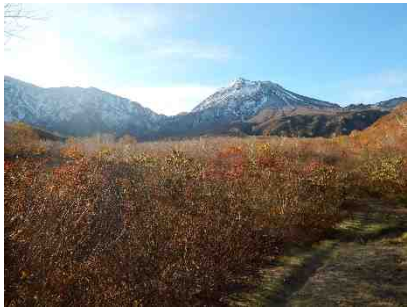
妙高連峰の登山口において、現在把握できている登山者数を整理した。登山者の比較的少ない登山口においては、個別に登山者数の把握を行っておらず、正確な数値は不明である。

No.	登山口	登山者数	備考
1	燕温泉	4500 人	平成 29 年度登山者カウンター（8/30～11/7）
2	山頂駅	不明	
3	笹ヶ峰	10722 人	平成 30 年度登山者カウンター（5/26～10/31）
4	笹倉温泉	約 530 人	令和 1 年度登山届
5	杉野沢橋	不明	
6	雨飾高原キャンプ場	4000 人	平成 30 年度登山届 （雨飾山への登山届の合計数）
7	大網登山口		
8	雨飾温泉	3650 人	平成 27 年度 （糸魚川市山の魅力アップ推進計画から引用）
9	関温泉	不明	
10	金山登山口	不明	

(2) 登山口の状況

妙高連峰への登山に利用される登山口の、「登山口の様子」と「山頂方面の景色」の状況を写真で整理した。

No.	登山口	現地写真	
1	燕温泉	<登山口の様子> 	<山頂方面を見た写真> 
2	山頂駅	<登山口の様子> 	<山頂方面を見た写真> 

No.	登山口	現地写真	
3	笹ヶ峰	<登山口の様子> 	<山頂方面を見た写真> 
4	笹倉温泉	<登山口の様子> 	<山頂方面を見た写真> 
5	杉野沢橋	<登山口付近の様子> 	<山頂方面を見た写真> 
6	雨飾高原 キャンプ場	<登山口付近の様子> 	<山頂方面を見た写真> 
7	大網登山口	(写真イメージ無し)	

No.	登山口	現地写真	
8	雨飾温泉	<登山口の様子> 	<山頂方面を見た写真> 
9	関温泉	<登山口の様子> 	<山頂方面を見た写真> 
10	金山登山口	<登山口の様子> 	(写真イメージ無し)

(3) 主な登山道の概要

妙高連山の主な登山道において、日帰り登山をする場合の往復コースタイム、距離、標高差を整理した。

No.	山頂	登山口	コースタイム	距離(km)	標高差(m)
1	妙高山	燕温泉	8:10	5.7	1319
2		山頂駅	7:15	4.7	1104
3	火打山	笹ヶ峰	8:45	8.2	1152
4	焼山	笹倉温泉	13:10 (10:50)※	14.2 (10.2)	1930 (1542)
5		杉野沢橋	11:30	6.6	1138
6	雨飾山	雨飾高原キャンプ場	6:35	5.0	1001
7		大網登山口	7:00	3.8	823
8		雨飾温泉	7:20	4.1	1074
9	神奈山	関温泉	5:50	2.9	1086
10	金山	金山登山口	8:05	4.5	995

※括弧内は土日祝に一般車両で移動できる第2ゲートからのコースタイム

(4) 山小屋等の概要

妙高連峰の登山道沿いに位置する山小屋等の概要は以下のとおりである。

山小屋	高谷池ヒュッテ	黒沢池ヒュッテ	大谷ヒュッテ	泊岩
標高(m)	2,110	2,014	1,780	2,026
営業時間	4月上旬～11月上旬 (冬季は避難小屋)	7月1日～10月31 日	通年 (無人、避難小屋)	通年 (無人、避難小屋)
収容人数	100人	100人	20人	5人
トイレ	水洗・洋 任意 100円	水洗・洋 有料 200円	有	無
写真				

出典：妙高山・火打山地域自然資産地域計画（妙高市）に一部追記し作成

(5) 麓の宿泊施設等の概要

妙高連峰の登山口付近に位置する宿泊施設等の概要は以下のとおりである。なお、杉野沢橋、大網登山口の付近には宿泊施設等が無い。

宿泊施設等	登山口	宿泊形態	営業期間
雨飾山荘	雨飾温泉	ホテル・旅館	5月中旬～11月上旬
雨飾高原キャンプ場	雨飾高原キャンプ場	キャンプ場	6月中旬～10月末頃 (気象条件で変更あり)
雨飾荘	雨飾高原キャンプ場 ・金山登山口	ホテル・旅館	4月下旬～11月下旬
山田旅館	雨飾高原キャンプ場 ・金山登山口	ホテル・旅館	通年(要問合せ)
笹倉温泉龍雲荘	笹倉温泉	ホテル・旅館	通年
笹ヶ峰キャンプ場	笹ヶ峰	キャンプ場	6月20日～10月31日 (9・10月は土日祝のみ営業)
山小屋明星荘	笹ヶ峰	ホテル・旅館	6月1日～11月上旬
赤倉観光ホテル	山頂駅	ホテル・旅館	通年
燕温泉宿舎	燕温泉	ホテル・旅館	通年
関温泉宿舎	関温泉	ホテル・旅館	通年

出典：山と高原地図 18「妙高・戸隠・雨飾・火打山・高妻山・信越トレイル」、施設 Web サイトより

1. 1 『妙高戸隠連山国立公園ビジョン』

基本理念：温故知新、そして、日本一愛される国立公園へ

妙高戸隠連山国立公園には、古来より受け継がれ、大事にされてきた自然と文化があります。これらを大切に引き継ぎ、さらに磨きをかける「温故知新」の精神により、より良い国立公園として後世につないでいきます。

また、これまでも多くの人々に愛されてきた地域ではありますが、新たな国立公園となった今、地域皆が協力してきめ細かな国立公園づくりを行うことで、そこに暮らす・暮らしていた人々は「住んでよかった」「この地に帰りたい」と、訪れる人々は「行ってみたい」「行って良かった」と思えるような、日本一愛される国立公園を目指します。

■妙高戸隠連山国立公園の魅力は、「山岳信仰と人々の暮らし息づく、一目五山の風景」です。

本国立公園の魅力は、第一に、里や高原から火山・非火山の個性的な形の山々を一望できることです。まず火山としては、8 km ほどのほぼ等間隔にポコポコと並ぶ飯縄山・黒姫山・妙高山、噴煙をあげる焼山があります。そして非火山としては、ギザギザとして急峻な戸隠連峰やなだらかな形の火打山、双耳峰の雨飾山などがあります。このように、個性的な形であるため山の名称を認識しやすい山が、コンパクトな国立公園の中にギュッと凝縮して存在しているため、五つもの山を一目で認識することができる「一目五山」の風景が公園内の至る所にあり、少し移動するだけで趣の異なる山容を楽しむことができます。また、多くの高原や、湖・池・湿原なども公園内に存在しており、里では農の営みも盛んです。そのため、「一目五山」の山並みと、森や水辺、日本らしい田園風景がセットになった風景を公園内の里や高原の至るところで目にすることができ、妙高戸隠連山国立公園らしい風景となっています。さらに、本地域は極めてはっきりとした四季を有していることから、これらの風景を、春夏秋冬それぞれの鮮やかな色で楽しむことができます。

第二に、本国立公園内の個性的な山容を持つ山々の多くが、山岳信仰の対象や地域の象徴として、地域の人々に大切にされてきたことです。ここから生じる歴史的な街並みや神社仏閣、祭りや生活習慣は、現在まで受け継がれています。また、冬の豪雪など美しくも厳しい自然と向き合ってきた当地では、工夫を凝らした暮らしぶりや、竹細工など自然資源を活用した伝統工芸の発展等、「自然と共存する知恵を持った文化」が今も息づいています。しかも、コンパクトな国立公園であるにも関わらず、こういった文化や方言なども地域によって少しずつ異なっており、文化もギュッと詰まっていると言えます。そして、厳しい自然と向き合い続けてきた当地に暮らす人々は、温かな人情を持ち合わせています。このように、大地の営みとそれに寄り添う人々の暮らし・信仰が紡ぐ風景も、本国立公園の大きな魅力です。

第三に、多種多様な動植物の生息地となっていることも魅力の1つです。例えば、本地域の大部分が「重要野鳥生息地」に選定されており、野鳥の宝庫となっています。特に、火打山周辺に生息するライチョウは国内北限の個体群（頸城山系個体群）であり、極めて重要です。また、高山のお花畑、山地帯のブナの原生的な林、山麓の湿原や雑木林など、多様な植生が存在しています。そして、トガクシソウ（トガクシショウマ）やミョウコウトリカブトのように本地域

の名前がついている植物もあり、地域の自然資源の象徴となっています。

その他、フォッサマグナ帯に位置し、世界ジオパークに認定されている「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク」を含むことや、約7万年の歴史を持ちナウマンゾウ発掘で有名な野尻湖があることなど、大地の歴史ロマンや勢いを体全体で感じるといった、地形地質的な魅力もあります。

■妙高戸隠連山国立公園の役割は、「色鮮やかな自然があり続けることと、

日本一の“自然×文化”の遊学舎(まなびや)であること」です。

国立公園は、日本の優れた自然の証、そして地域の自然の象徴的な存在です。地域の、そして日本の宝である自然を保全することにより、後世にわたって豊かな自然と四季折々の色鮮やかな風景があり続ける場であることが、本国立公園の存在する大切な役割の1つです。

もう1つの役割は、その豊かな自然が節度を持って利用され、人々に様々な体験を与えられる場であり続けることです。妙高戸隠連山国立公園には、多様な資源とはっきりとした四季があるため、「海以外の遊びや学びを、四季折々にできる」ことが特徴です。例えば、初級者から上級者まで満足できる登山、気軽な自然散策、スキーをはじめとした雪遊び、野尻湖のカヌーをはじめとするウォータースポーツ、釣り、サイクリングや高地トレーニングなど、自然を利用した各種アクティビティを楽しむことができます。これらを体験できる場所は公園内各所に点在しており、本国立公園全体が、いわば「自然遊びのテーマパーク」となっています。また、動植物の自然観察、化石発掘体験、地形地質の学習や山岳信仰に関する体験等、知的好奇心を満たす様々な学びもでき、本国立公園は「自然と文化の博物館」とも言えます。本国立公園ではこのような遊びと学びの体験を併せ、「“自然×文化”の遊学舎(まなびや)」と呼ぶこととし、日本で一番、「自然と文化」の「遊びと学び」が充実した国立公園となることを目指します。

また、「癒しの場」となることも、本国立公園の大切な役割の1つです。小谷温泉や妙高高原温泉郷など歴史ある温泉が豊富であることをはじめとして、森林セラピー、地域色豊かな郷土食や温かい心を持つ人々とのふれあい、日本の原風景を思わせる心落ち着く風景などから、本国立公園は人々の心を癒す場でもあります。

そして、妙高戸隠連山国立公園はコンパクトな国立公園であるため、これらを体験できる場所もギュッと凝縮していて、短期間に複数の体験をすることができます。また、北陸新幹線や高速道路から近い地域も多く、観光客のアクセスが良いとともに、近隣市街地から近いことで地域住民も気軽に足を運ぶことができる、地域に根ざした国立公園でもあります。

■妙高戸隠連山国立公園の保全・利用の目標は、「先人が築き守ってきた自然と文化を、私たちが自信をもって子供たちに引き継ぐこと」です。

妙高戸隠連山国立公園には、古来より受け継がれてきた自然と文化があります。守るべき風景や動植物、文化等が何であるのかを再認識した上で、保全します。また、守られた資源を節度を持って利用し、多くの人が自然を楽しむ場にするとともに、自然を大切にする意識を醸成する場とします。なお、単純に多くの利用者があれば良いということではなく、自然の状況や地域に応じて適正な利用者数があることを大切にします。自然や文化が守られ、その自然や文化を求めて多くの人が訪れる国立公園となることで、そこに暮らす・暮らしていた人々は「住んでよかった」「この地に帰りたい」と、訪れる人々は「行ってみたい」「行って良かった」と思

えるような国立公園となり、国立公園が地域の糧となります。

これらを実践するのは、今、ここにいる私たちです。私たちが豊かな自然を守り活かし、自信をもって子供たちに引き継いでいきます。

1. 2 『妙高戸隠連山国立公園管理運営方針』

妙高戸隠連山国立公園の共通の目標であるビジョンを実現するためには、取り組むべき施策の方向性を地域皆で共有し、同じ方向を向いて取組を進めていくことが大切です。そこで、取り組むべき施策の方向性として①～⑨を定め、関係者皆で適切な役割分担のもと取り組みます。

注)「(取組の具体例)」は、具体的なイメージをつかむために、行政関係者や地域住民から出された意見を例として記載したものです。

① 北限のライチョウをはじめ、豊かな生物多様性保全の取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園は、多様な地形地質が存在することや豪雪地帯であること等から、北限のライチョウをはじめとして動植物相がとても豊かな地域です。この豊かな生物多様性が本国立公園内にあり続けることが、本国立公園の役割の1つです。

豊かな生物多様性を保全するためには、例えば、調査研究の推進、希少種の保全、外来種対策、人為によって維持される自然の保全再生、野生鳥獣対策などの取組が必要です。

(取組の具体例) 国立公園の植物相の把握、ライチョウ保護増殖事業の推進、高山植物の盗掘防止対策の実施、火打山におけるオオバコの対策、樹木の侵入が見られる湿地の保全 等

② 妙高戸隠連山国立公園らしい風致景観保全の取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園は、火山・非火山の個性的な山容をもつ山岳が密集し、点在する高原や湖沼と相まって美しい自然景観となっているとともに、伝統的な街並みや農の風景など人が紡ぐ美しい風景があります。また、豊かな自然が生み出すきれいな水や空気、静穏な環境もあります。この妙高戸隠連山国立公園らしい風致景観があり続けることが、本国立公園の役割の1つです。

妙高戸隠連山国立公園らしい風致景観を保全するためには、例えば、街並みや自然景観等良好な景観の形成及び維持管理、展望台や歩道等風致景観を楽しむ良好な場の形成及び維持管理、自然公園法の遵守、水や大気等の環境保全などの取組が必要です。

(取組の具体例) 伝統的な街並みの保全、廃屋の存在等国立公園らしくない街並みの改善、野尻湖の栈橋のあり方の整理、展望地で眺望を妨げている樹木・柵・看板等への対応、散策路及びその周辺の適切な管理とベンチの設置、野尻湖の水質や静音の維持 等

③ 登山を活性化させる取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園は、初級者から上級者まで皆が満足できる変化に富んだ魅力的な登山ルートを有しているとともに、コンパクトな国立公園ながらも日本百名山が4座もあることから、登山は本国立公園における主要な利用形態の1つとなっています。このため、多くの利用者に安全快適に登山を楽しんでいただくことが、本国立公園の役割の1つです。

登山を活性化させるためには、例えば、適切な登山道整備の推進及び適切な維持管理、トイレや山小屋等施設に関する課題への対応、登山ガイドの人材確保やスキルアップ、新潟焼山の火山防災対策や防災教育の推進、安全登山を含めた情報発信の活性化などの取組が必要です。なお、登山道整備や情報発信に際しては、保全と利用のバランスに配慮します。

(取組の具体例) 登山道整備に関わる人材や費用の確保、登山道整備方針の整理、携帯トイレの普及、登山口の駐車場不足への対応、自然及び安全に精通するガイドの養成と有資格化、ガイド利用の活性化、火山防災に関する避難訓練の実施、登山マップの作成と効果的な活用、登山届提出の促進 等

④ 自然や文化で遊び・学ぶ体験活動を活性化させる取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園は、日本有数のスキー場の密集地であるほか、散策やカヌー、サイクリングなど、自然を利用した遊びの場となっています。また、動植物の自然観察、化石発掘を含めた地形地質の体験学習、山岳信仰にふれる体験など、多様な体験ができる資源を有しており、自然や文化の学びに適した場でもあります。このため、各種アクティビティやエコツアーリズム等体験活動の場となることで、本国立公園の役割の1つです。

自然や文化で遊び・学ぶ体験活動を活性化させるためには、例えば、アクティビティや体験プログラムの充実、ガイドの人材確保やスキルアップ、情報発信の活性化などの取組が必要です。

(取組の具体例) 多様なメニューの整備、国立公園の魅力をより詳しく学ぶことができるプログラムへの改善、エコツアーリズム推進全体構想の認定、博物館の利用促進、妙高戸隠連山学のガイドへの浸透、雪質の良さなど魅力を活かした情報発信、エコツアーの一元的な情報発信 等

⑤ 癒しの場となるような取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園は、四季折々の日本らしい心落ち着く風景、火山の恵みを受けた多様な泉質の温泉や湯治場、歴史ある神社、おいしい農産物と郷土食、温かい心を持った地域の人々など、人々に癒しを与える多様な資源を有しています。このため、人々の心身を癒す保健休養の場となることで、本国立公園の役割の1つです。

癒しの場となるには、例えば、温泉や神社等癒される施設の利用の活性化、ヘルスツーリズムの活性化、文化や風土に根ざした食の提供、おもてなしの心の構築などの取組が必要です。

(取組の具体例) 泉質の違いを発信することによる周遊利用の推進、森林セラピーの広域利用の促進、ノルディックウォーキングやウェルネスウォーキングの促進、地産地消の推進、郷土料理教室の開催、地域皆でおもてなしをする心の構築 等

⑥ 「世界に誇れる観光地」となるよう、観光地としての資質を高める取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園は、豊かな自然と文化を求めて国内外から多くのお客様をお迎えする観光地であるため、利用者にとっての安全性や快適性が十分に確保されている必要があります。そこで、全ての利用者が安全快適に滞在することができ、観光地としての資質の高い、「世界に誇れる観光地」となることを目指します。

「世界に誇れる観光地」となるためには、例えば、観光地として必要な施設や空間の整備、ユニバーサルデザイン化の推進、二次交通の改善、利用状況に関する基礎的データの蓄積などの取組が必要です。

(取組の具体例) サインの統一や設置方針の整理、不足する駐車場や渋滞対策の検討、ゆっくり歩き休める街づくり、外国の方が利用しやすい地域づくり、観光利用に供するバスの運行、登山者数の把握 等

⑦ 地域ぐるみで積極的に情報発信し、「妙高戸隠連山国立公園ファン」を増やす取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園が好きで、一度だけでなく何度でも訪れて下さるリピーターを増やすことが望まれます。そこで、「国立公園のブランド」と「地域としてのまとまり」を活かして地域ぐるみで積極的に国内外に情報発信することにより、「行ってみたい」「もう一度行きたい」と思う「妙高戸隠連山国立公園ファン」を増やすことを目指します。

「妙高戸隠連山国立公園ファン」を増やすためには、例えば、本国立公園の魅力の発掘と活用、効果的な手法を用いた情報発信、魅力的なイベントの開催などの取組が必要です。

(取組の具体例) 各自治体における「国立公園〇〇」の活用の推進、公園利用者に対するアンケートによるニーズ把握、周遊観光を促すことに留意した情報発信(ガイドブックやHPの製作)、登山であればアウトドアショップ等対象を絞った効果的な発信手法の確立、SNSを利用した情報発信、登山イベントの実施 等

⑧ 「故郷、妙高戸隠連山国立公園」となるような取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園が地域住民(周辺住民含む)の心の誇りや暮らしの糧になることで、「住み続けたい」「この故郷に帰ってきたい」「新たな故郷として住んでみたい」と思う地域になることが望まれます。そこで、多くの地域住民が「故郷、妙高戸隠連山国立公園」と思うようになることを目指します。

「故郷、妙高戸隠連山国立公園」と思う人を増やすためには、例えば、地域住民が妙高戸隠連山国立公園を学ぶ機会の充実、自然環境の保全管理への参加促進、地域資源に関連した生業の維持や雇用の確保などの取組が必要です。

(取組の具体例) 妙高戸隠連山国立公園を総合的に学ぶ「妙高戸隠連山学」の創設、地域住民に対する環境学習の推進、外来種駆除等へ参加しやすい体制づくり、ガイド利用の活性化、宿泊施設の通年利用の活性化 等

⑨ 協働による取組をすすめます。

妙高戸隠連山国立公園は2県6市町村にまたがり、その保全と利用の取組には行政・民間業者・住民・学識経験者等様々な主体が関わっています。そのため、各主体の活動や考えを知り、また意見を言い易い場があることや、課題に対する迅速な対応ができる場があることが必要であり、そのため「協働」による管理運営体制を目指します。

協働の取組を進めるためには、例えば、協議会の定期的な開催による意見の交換、官民共

同事業の実施、ビジョン等の共有などの取組が必要です。

（取組の具体例）定期的な協議会の開催による情報共有や意見交換、地域の方から意見を聞く場の定期的な開催、官民一体となった事業の実施、ボランティアが活躍できる体制づくり、法令の解説等。